

世田谷区福祉有償運送運営協議会 (令和8年度第1回)	日時	令和8年7月24日(金) 10時～10時30分
	会議	ZOOM
協議会委員		説明者
【出席者】 吉村(株式会社グリーンキャブ) 吉田(さくら介護タクシー) 村井(世田谷区重症心身障害児(者)を守る会) 坂(世田谷区肢体不自由児(者)父母の会) 赤木(関東運輸局東京運輸支局輸送担当) 奥村(全国自動車交通労働組合東京地方連合会) 浅岡(NPO法人世田谷ミニキャブ区民の会) 廣瀬(NPOハートフルかみんぐ) 相川(世田谷ケアマネジャー連絡会) 山本(世田谷区保健福祉政策部保健福祉政策課長) 佐藤(世田谷区高齢福祉部高齢福祉課長) 倉地(世田谷区道路・交通計画部交通政策課長) 堂馬(世田谷区障害福祉部障害者地域生活課長) 会長 13名		鬼塚(NPOハンディキャブを走らせる会) 1事業者
		傍聴者
		0名
		事務局
【欠席者】 0名		猪刈・林田・清谷 3名
出席者合計 17名		

1. 開会

【堂馬会長】

- ・令和8年度第1回世田谷区福祉有償運送運営協議会を開会する。
- ・障害者地域生活課長(堂馬)が会長として議事進行を行う。
- ・本協議会は13名で構成され、本日の出席者は過半数を超えているため、「世田谷区福祉有償運送運営協議会設置要綱」(以下設置要綱という)第6条に基づき本会は成立する旨、報告。

2. 傍聴の確認・個人情報の取扱い

【堂馬会長】

- ・本日は傍聴者なし。事務局は議事録作成のため録音、撮影する。議事録については、委員の個人名を入れたものを記録として残し、区のホームページ等で公開する。

3. 対価変更の協議について

【堂馬会長】

- ・福祉有償運送運営協議会は設置要綱により、地域での福祉有償運送の必要性、旅客から収受する対価、その他福祉有償運送の適正な運営の確保のために必要となる事項等を協議する場となっている。

- ・本日は対価変更の申し出があったため協議を行う。
- ・委員には、各々の立場で福祉有償運送に関する意見等を述べていただくようお願いする。
- ・なお、運送の対価については、道路運送法の改正等により、タクシー運賃の約8割とすることに変更されているので、ご承知おき願う。
- ・それでは、ハンディキャブを走らせる会の料金改定について協議を行う。

■ハンディキャブを走らせる会

【ハンディキャブを走らせる会 鬼塚氏】

- ・当団体は40年近く前に光明養護学校の卒業生が始めた団体で、2006年に法改正があった後、福祉有償運送事業の登録を行った。
- ・現在はシニアのボランティアにより運行しており、通学や通院の利用が多い。
- ・対価の変更理由は、コロナ後も運行件数が戻らないこと、諸物価値上がりへの対応である。
- ・変更内容としては①車両管理・運行費を1時間800円から、利用実態に合わせ30分500円とし、②出動費（迎車回送料金）は1日400円から、行きと帰りで別途迎車する実態もあることから、1回400円に変更する。なお、燃料代は変更しない。
- ・この金額でシュミレーションすると16%程度の値上げになる。利用者への説明をしたうえで、下期あたりから料金を変更したい。
- ・運行件数は減っている。運転手も年齢が上がっており、新しい運転手の確保やITの関係で色々なことを導入してきたのでそれも進めていきたい。また、放課後等デイサービスが増えていて、そちらからの問い合わせもあるので体制を整えていきたいと考えている。
- ・タクシー料金は乗車・下車で計算するのに対し、出庫・帰庫の時間と距離で計算するのでタクシー料金と比較は難しいが、資料で示したとおり十分8割以内には収まっている。

【株式会社グリーンキャブ 吉村委員】

- ・燃料代は今回変更しないということだが、燃料代は上がってきている。今後値上がりしていくことも含めて考えると、燃料代は値上げしなくても大丈夫か。

【ハンディキャブを走らせる会 鬼塚氏】

- ・以前燃料代を40円から50円に上げている。距離が長い方、回数が多い方の送迎をしているので、ガソリン代自体がどう動くか分からない中で、今回同時に値上げをするのはどうかという判断で、燃料代の値上げは行わない。

【株式会社グリーンキャブ 吉村委員】

- ・出動費の単位を1日から1回にするとのことだが、往復の方は出動費が倍になるということではいか。車両管理・運行費は1時間800円だったが、実際には30分単位で30分400円、1時間800円で計算していたので、現実にあわせ

て30分単位とし、料金も500円にするという話だったが、これを聞くと単純に車両管理費・運行費は25%上がっている。また、出動費が回で往復になれば倍になるように見えるが、シュミレーションすると16%アップということで、数字がリンクしていないがなぜ16%になるのか。

【ハンディキャブを走らせる会 鬼塚氏】

・距離を全く走らなければ25%。10km走ったら燃料代が500円足される。当会の利用距離の平均値は12～13kmほどで、距離の費用が足されてほしい16%ほどになる。

【堂馬会長】

それでは、「ハンディキャブを走らせる会」の対価変更について協議が調ったということで良いか。

【全員】

了承。

4. その他

【村井委員】

利用者側としては、家族も高齢化しており自力での送迎が難しくなっている中で、福祉有償運送の事業者には、ぜひ運転手を確保して利用者の需要に応じていただきたい。

【堂馬課長】

区としてもこういった状況も踏まえながら今後の移動サービスのあり方を考えていく必要があると思っている。

【堂馬会長】

それでは、最後に事務局から連絡事項をお伝えする。

【事務局 猪刈】

本日の運営協議会の内容は、公表することになっている。後日議事録を作成し、原稿が用意でき次第、委員のみなさまに送付するので内容のご確認をお願いしたい。

【堂馬会長】

本日の運営協議会を終了する。

<閉会> 10時30分終了